

# 児童・女性

公立保育園廃園方針は見直し、認可保育園増設で待機児解消を

木村まゆみ議員(共産) ①公立保育園の運営のあり方に関する方針の素案に対するパブリックコメントの内容、傾向は、②就学前の児童数に対して、認可保育園の定員では全く足りないと思うがどうか。

市長 ①公立保育園民営化の目的が不明確、民営化の具体的な内容を説明してほしい等、多岐にわたる意見、要望があった。②待機児童対策として、幼稚園アットホーム事業や認定こども園の開設を他市に先駆けて実施しており、認定家庭福祉員も多数設置している。

保育園、特別養護老人ホームの待機者をなくす施策はあるのか  
鴨打喜久男議員(政和) ①保育園の待機児童数は、待機児童をなくす施策はあるのか。②特別養護老人ホームの待機認定こども園(小平花小金井こども園)



者数は、待機者をなくす施策はあるのか。  
市長 ①昨年10月時点で139人。現実的な対応として民間事業者から認可保育園の新設等の提案があった場合は検討の対象とし、幼稚園アットホーム事業等の増員、認定こども園の開設、私立保育園建てかえによる定員増なども進めていく。

②昨年6月末時点で503人。重点事業として小規模特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームの整備等を掲げ、事業者に働きかけている。

保育園に入れない子どもたちはいつまで我慢するのか  
常松大介議員(フオ) ①年度当初119人いた待機児童はどのような養護を受けてきたのか。②社会福祉法人等から認可保育所を設置したいという意向が示された場合、設置が可能な具体的な条件は。

市長 ①4月以降に認証保育所や幼稚園、認定家庭福祉員等を利用している場合は、保護者等が養育している状況が最も多いと把握している。  
②立地条件、待機児童解消に効果的な年齢別定員の設定、延長保育や一時預かり事業等の実施等、総合的な観点から検討していきたい。  
ドメスティックバイオレンスの防止と被害者支援について  
日向美砂子議員(生ネ) ①DVへの誤解や偏見を解くための啓発事業に取り組んでいるか。



人権侵害防止に関する知識の普及啓発冊子

②デートDV(恋人間の暴力)を防止する教育現場での取り組みは。  
市長 ①小平市男女共同参画推進条例では家庭内等でのあらゆる暴力を禁止しており、小平アクトプラン21では女性への暴力根絶のための施策推進を掲げ、知識の普及啓発や女性相談窓口の充実を図っている。

教育長 ②デートDV防止を目的としては行っていないが、人権尊重の観点から発達段階に応じた指導をしている。  
小平市は子ども手当の地方負担を拒否したらどうか  
鴨打喜久男議員(政和) ①子ども手当は全額国費として計上すべきであり、市は負担を拒否すべきかどうか。  
②市の負担額は。  
③市の負担額を保育行政、子育て関係予算に使えないか。  
市長 ①昨年12月20日付で本年度と同様に児童手当法の規定に基づく地方負担が決定され、所要の法律案も通常国会に提出されたことから、地方負担を計上し予算編成を行った。

# 医療健康

②来年度予算案では、3億7千6百4万円を計上している。  
③負担額は子ども手当への充当を予定しており、それ以外は想定していない。

高額な不育症治療費に対する助成を求め  
浅倉成樹議員(公明) ①相談窓口や専門医の確保は。  
②治療費に対して助成制度を設けられないか。

市長 ①公立昭和病院では患者相談専門の看護師を配置しており不育症相談にも対応できるとのことだが、専門医の確保は不育症の専門医が少なく困難と聞いている。  
②現時点では考えていないが、国では治療に関する研究が進められていると聞いているので動向を注視したい。  
※不育症とは  
妊娠はしても、流産、死産や新生児死亡などを繰り返して結果的に子どもを持たない状態のこと。

ワクチンで防げる病気(VPD)に対する今後の施策について  
虹川 浩議員(公明) 水ぼうそう、おたふく風邪、B型肝炎、ロタウイルスに対する市の認識と今後の基本方針は。  
市長 水ぼうそう、おたふく風邪、B型肝炎の予防としてはワクチンの有効性が高いと言われ

ており、ワクチンに関する国の予防接種部会で検討が進められているので注視したい。ロタウイルスは、その感染による胃腸炎を予防するワクチンが海外では承認されているが、国内では国がワクチンの製造販売について審査中と聞いており、動向を見守りたい。

ワクチン接種、脳卒中対策、歯科健診の充実で健康支援を  
山岸真知子議員(公明) ①子宮頸がん予防ワクチン接種無料化と対象年齢拡充はできないか。  
②都の脳卒中に関する意識啓発ポスター等の活用は。  
③成人歯科健診の申し込み方法はどうか。

市長 ①現在、無料化は考えていない。対象年齢も国に合わせ、高校1年生相当の年齢まで拡大していることから、当面は現在の内容で実施したい。  
②平成22年度当初に庁舎を初め、健康センター、東・西出張所等で掲示、配布した。  
③はがきやインターネットのほか健康センター、健康福祉事務センター、東・西出張所、勤務センター、東・西出張所、勤務センターで申し込みができる。  
国民健康保険の幾つかの問題について  
佐藤 充議員(共産) ①資格証明書、短期保険証の発行は保険証を取り上げることになるので中止すべきではないか。  
②厚生労働省が都道府県知事あてに保険税の引き上げや収納率向上等を求める通達を出したが、市への影響は。  
市長 ①法に基づき、特別な理由がなく滞納が続いている場合

# 道路

たかの台地域周辺の安全対策を進めよう  
山岸真知子議員(公明) ①水車通りとたかの街道の交差点に時差式信号機を設置できないか。  
②鷹の台駅前の一方通行を逆走する車への対策は。

たかの街道沿いに待避所の整備をすべき  
滝口幸一議員(フオ) たかの街道は市道の中でも特に通行に注意が必要とされる道路であるが、抜本的な改善には至っていない。そこで、たかの街道沿いに歩行者が待避できる場所を確保できないか。

市長 自動車の交通量も多く大型バスも運行しているが、歩道の幅員が狭く歩行者のすれ違い等にも不安を感じる状況があり、道路拡幅の必要は認識している。歩道等の整備に向け関係地権者に用地買収等の働きかけを行っているが、土地の取得には至っていない。今後も引き続き交渉を行っていく。



たかの街道

たかの台地域周辺の安全対策を進めよう  
山岸真知子議員(公明) ①水車通りとたかの街道の交差点に時差式信号機を設置できないか。  
②鷹の台駅前の一方通行を逆走する車への対策は。  
市長 ①時差式信号機は対面する信号のいずれかの青信号の時間を現在よりも短くする必要があり、時間が短い側の渋滞が増す結果にもつながりかねないことから設置は困難と交通管理者から聞いている。  
②交通管理者と協議を行い、誤進入を防止するための対策を検討していく。

小川西保育園通りの街灯と照明について  
斎藤貴亮議員(フオ) ①都立小平特別支援学校や緑成会病院の小川西保育園通りに面した照明の夜間点灯は可能か。  
②街灯の照度の低さや数が少ない市道への対応は。

市長 ①設置されている照明については当該施設が業務上必要な時間に点灯しているものであり、協力を要請することは難しいと考える。  
②現地確認等で照度が不足しているたり低下している場合は原因の調査を行い、街路灯の新設や照度の改善などの対応を行っている。  
小平市東部地域の道路の安全対策について  
川里春治議員(政和) ①野中通りの郵便局交差点の停止線は離れた位置にあるが、両側に電柱があり危険である。停止線を



野中通りの郵便局交差点

移動できないか。  
②新小金井街道と青梅街道の交差点にある店舗前の歩道に自転車が多くとめられ危険である。対策はないか。  
市長 ①停止線を東京街道寄りに移動した場合、郵便局駐車場への出入りに支障を来すため、移動は困難と小平警察署から聞いている。  
②都からは歩道に駐車禁止の看板等を設置し、店舗にも指導しているという。

栄町神明住宅地内の野火止用水の橋を含めた私道の市道化等は  
佐野都夫議員(政和) ①自治会所有のほのほの橋とどぐり橋の欄干はいづ補修するのか。  
②土橋やほのほの橋など、頻繁に車両の通行があり公共性が高いものは隣接市と協議して公道にすべきでは。  
市長 ①本年1月に私道補助補修工事の申請を受理した。整備は平成23年度の予定である。  
②土橋は東村山市が管理している。ほのほの橋については今後も栄町神明自治会と市道化を前提に協議していく。